



坂本 崇子さん  
芦北郡芦北町

私は日頃から「障害を持つ人には積極的に手を差し伸べていこう」と思っていました。しかし、実際に、目の不自由な人とぶつかった時には驚くばかりで何一つ助けてあげることが出来ませんでした。あまりにも情けない話ですが、この出来事を契機に改めて福祉問題を考えるようになりました。福祉に対する理解と温かい応援を得るためにも、関連のある人や施設を訪ね、そこで見たこと、聞いたこと、感じたことをありのままレポートしていきたいと思っています。



林田 三恵さん  
上益城郡御船町

もともと生まれ育ったところは埼玉ですが、結婚して夫の実家がある御船町に15年前に参りました。町のことをいろいろ知りたくて、子どもの通う小学校の広報委員を4年間務めてきました。今ではすっかり御船通になったと自負しています。今度は御船町から県内全域へ——。より広い世界へと飛び出していく訳です。純粋な目で、新たな視点で捉えた熊本を伝えていけたらいいなと思っています。



渡辺 紘子さん  
熊本市鶴羽田町

自分の住んでいる町のことを平気で悪く言う人がいますが、「ここに住んで良かった」という気持ちもないようでは町の発展はあり得ないと思います。県政というものも、根本的にはそういうことではないでしょうか。様々な角度から熊本の魅力をアピールし、郷土を愛する心、大切に思う気持ちを育てていきたいものです。

得意とするものは書道に英語。そしてコンピュータプログラム。音楽が好きでバンド活動にも参加していたことがあります。好奇心おう盛で、何にでも積極的に取り組んでいける性格なので、今回応募に踏み切りました。今までは、情報を受け取る立場でしたが、これからは、情報を送る立場へと転じ、県民の皆さんのイキイキとした暮らしに役立つ情報をお届けしていきたいと思っています。



河津 弘美さん  
阿蘇郡阿蘇町

大阪から球磨に嫁いで早4年。美しい水と緑に囲まれて、毎日楽しく暮らしてきました。ところが普通の行動範囲といえば1平方キロメートル程度。第2の故郷である熊本についての知識は皆無に等しい状況の中でした。昨年、隣保班長になって初めて県政に関する広報物の多さを知りました。自分と県政との関わりに気づいてない人たちのためにも、情報伝達のパイプ役になりたいと思っています。



竹下 美也子さん  
球磨郡多良木町

結婚してもうすぐ4年。その間に生まれた子どもが3才と1才になり、育児にも少し余裕ができてきました。そこで「専業主婦でも何かお役に立てることがあれば」と、思い切って応募しました。以前、私は小学校の教師をしていましたので、教育問題にはとても関心があります。今度は教師の経験を生かしながら、子を持つ親の目を通して、この問題に取り組み広報していく気持ちです。



木村 美奈子さん  
熊本市城山上代町

## 女性の感性を生かし、6人のミセスが熊本を見つめます



プロムナードのイチョウが一斉に芽吹き、目に柔らかな緑が新しい季節の訪れを告げる春。県庁では、平成3年度、ママさん特派員依頼状交付式が4月17日、知事応接室で行われました。

福島知事から一人ずつ氏名を呼ばれると、緊張の持ち場で依頼状を受け取るママさんたち。これから1年間、当誌「くまもとの風」ママさんレポートでの施設、イベントの取材をはじめ、県政ラジオへの出演や県政バスへの参加などで活躍していただきます。

熊本がどう動き、何を発信していくのか——。今回は、ひとり一人に自己紹介と、今後の抱負について語ってもらいました。

